

精神科

■一般目標 GIO

- ・ 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立する。
- ・ 患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接を実施する。
- ・ 保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ、診療計画を作成し、評価する。
- ・ 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献する。

■行動目標 SBO

- ① 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- ② 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームドコンセントが実施できる。
- ③ 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。
- ④ 医療面接におけるコミュニケーションのもつ意義を理解し、コミュニケーションスキルを身につけ、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握して実施できる。
- ⑤ 患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生育歴、系統的レビュー)の聴取と記録ができる。
- ⑥ インフォームドコンセントのもとに、患者・家族への適切な指示、指導ができる。
- ⑦ 診療計画(診断、治療、患者・家族への説明も含む)を作成できる。
- ⑧ 診療ガイドラインを理解し活用できる。
- ⑨ 入退院の適応を判断できる。
- ⑩ QOLを考慮に入れた総合的な管理計画(社会復帰、在宅医療、介護を含む)へ参画できる。
- ⑪ 保健医療法規・制度を理解し、適切に行動できる。
- ⑫ 医療保険、公費負担医療を理解し、適切に診療できる。
- ⑬ 医の倫理、生命倫理について理解し、適切に行動できる。

■学習方略 Learning strategy

- ① 面接と診断の方法を理解する。
- ② 精神症状を把握する。
- ③ 薬物療法の基礎を学ぶ。
- ④ 精神療法の基礎を学ぶ。(支持的精神療法を中心に)
- ⑤ 治療計画を作成する。
- ⑥ 家族および支援者の心理を理解し、支援方法を学ぶ。
- ⑦ チームとしての活動を進める。
- ⑧ リハビリテーション(病院・地域)および地域生活支援の実際を知る。
- ⑨ 精神保健福祉センター、保健所、市町村、子どもセンターの活動を知る。
- ⑩ 精神障害体験者の講義により精神障害について理解を深める。
- ⑪ 精神科救急を体験する。
- ⑫ 精神科的問題を基盤とした身体症状の鑑別診断を経験する。
- ⑬ 精神科領域におけるインフォームドコンセントを経験する。
- ⑭ 各ライフステージごとの心理や精神医学的問題を把握する。

■評価 Evaluation

- ① 症例検討会やミーティングでの指導医および他の医療従事者との質疑により患者の病態把握と基本知識を評価する。
- ② 精神科研修の終了時、担当症例についての発表を行い、GIO SBO に関する評価とフィードバックを行う。
- ③ 総括的評価、コメディカルによる評価は、EPOC 及び病院全体で行い研修管理委員会から各研修医にフィードバックされる。

■週間スケジュール

毎日8時30分医局集合、朝8時40分から病院スタッフ全員でミーティング

月 午前 北1、北2、救急病棟回診、新患外来予診

午後 リハビリ棟見学

火 午前 北1、北2、救急病棟回診、新患外来予診

午後 東1病棟患者診察

水 午前 北1、北2、救急病棟回診、新患外来予診

午後 がんセンター研修等に参加

木 午前 北1、北2、救急病棟回診、病気薬社会資源教室参加

午後 東2病棟患者診察

金 午前 北1、北2、救急病棟回診、新患外来予診

午後 西1病棟患者診察、症例検討会参加